

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年11月末時点）

通年で安定した労働力が維持できる体制づくり				長崎県西海市 小迎南風崎地区	
農業を担う者数 (うち担い手)	6経営体 (6経営体)	農地面積 (うち農振農用地)	16.7ha (11.8ha)	主な農畜産物	温州みかん・露地野菜
農業地域類型	中間農業地域	遊休農地	0ha	現状の集積率 (目標)	87.2% (100%)

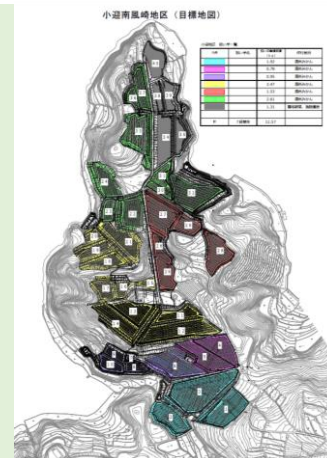
地域の現状と課題	将来の地域農業の方向性
・西海市は、長崎県の西彼杵半島の北部に位置し、森林が半数以上を占め、東域には波静かな大村湾に面し、西域は荒々しい五島灘に面する山と海に囲まれた自然豊かな市である。 ・小迎南風崎地区は基盤整備事業により、令和3年度末には植栽も開始され、令和4年度までに集積配分を終え、温州みかん・露地野菜を中心とした生産を行っている。	・温州みかんをメインとし、先進的な栽培方法の実践により大幅な省力化による大規模経営を実現すると同時に、根域制限栽培やマルチドリップ栽培を導入した高品質なみかんづくりを目指し、ブランド率向上を目指した取り組みを行う。 ・温州みかんについては、まずは安定した生産体制を確立し、供給量の安定化を図る。 ・農地環境に適した野菜を栽培し、高品質な野菜作りを目指す。 ・スピードスプレーやラジコン草刈機など各種農業機械等を導入し共同利用を行う計画である。



協議を進める過程で発生した課題	取組経緯(課題への対応)及び今後の予定
・特になし。 (基盤整備地区のため、地域内での協議の場が設けやすかったこと、参集したい方々の参加が見込めたこと、農地中間管理事業の活用により意向把握が効率的に行われたことにより発生が見込まれる課題が最小限であった。) ・協議の場に際しては、農作業繁忙期に労働力不足に陥らないために、農作業委託や人材育成など、持続可能な農業を実現するために随時、地域の担い手と情報共有しながら対策について話し合う必要性を感じた。	・基盤整備地区であったことから、既存の基盤整備の会の会議開催にあわせ、推進チーム会のメンバーが地域協議の場を設けさせてもらった。 ・モデル地区については、今後は西彼北小地区の地域計画の中に組み込まれるため、引き続き担い手の方々との協議の場を設ける。 ・今後は、地域でSSやドローン防除などを試験的に活用することにより、省力化が可能となるため、農作業の効率化を図る見込み。 ・果樹収穫時の繁忙期の労働力確保について、団地化したメリットとして、地域内ローテーションで雇用を行うなど、通年で安定した労働力が維持できる体制づくりを今後、協議しながら構築していきたいとの地域からの声もあがっている。 ・令和6年3月に地域計画策定予定。



協議の場の様子(第1回)



目標地図